



# 第62期中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

**Contents**

- 株主の皆様へ
- “ニュー・フジッコ”の創造
- 製品別の売上状況
- 連結財務ハイライト
- 連結財務諸表
- 会社情報
- 株式情報・株主メモ



株主の皆様へ  
*Top Message*

## “ニュー・フジッコ”の 創造を加速します！

- ブランド価値の  
強靱化
- 働き方改革

生産性向上

### 株式情報・株主メモ

■株式の状況 (2021年9月30日現在)

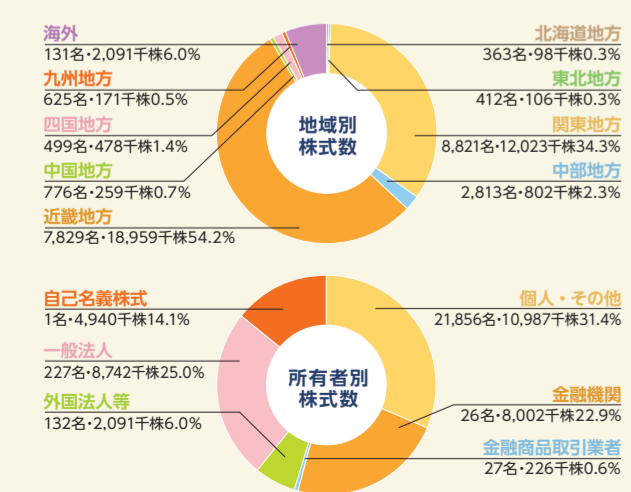
発行可能株式総数 108,000,000株  
発行済株式の総数 34,991,521株  
株主数 22,269名

■大株主の状況 (2021年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ミニマル興産	6,194	20.61
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,273	10.89
福井正一	1,021	3.40
株式会社三菱UFJ銀行	895	2.97
住友生命保険相互会社	854	2.84
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	695	2.31
田中久子	616	2.05
日本生命保険相互会社	550	1.83
株式会社三井住友銀行	494	1.64
フジッコ従業員持株会	405	1.35

(注) 1. 大株主上位10名を記載しております。  
2. 当社は、自己株式4,940千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。  
3. 持株比率は、自己株式4,940千株を控除して計算しております。

■株式分布状況 (2021年9月30日現在)



(注)「金融商品取引業者」とは、「証券業」を含む金融商品取引業者を指し、従来の「証券会社」と同様の範囲となります。

### 株主メモ

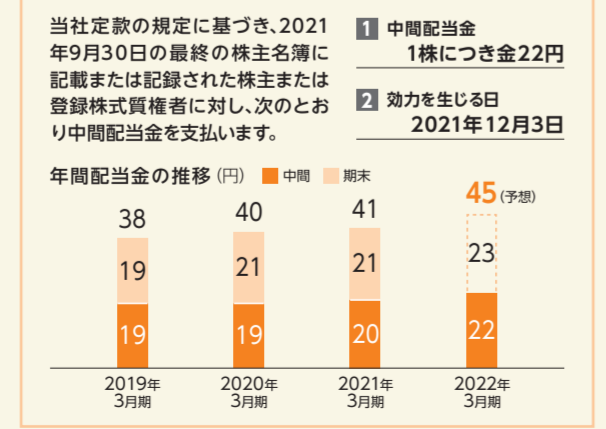
事業年度 4月1日から翌年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
受領株主確定日  
中間配当金 毎年9月30日  
受領株主確定日  
定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)  
同連絡先 東京証券取引所市場第一部

上場証券取引所 公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <https://www.fujicco.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

**ご注意**

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 配当金について



### ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長執行役員 **福井 正一**

### 当期の事業環境と取り組み

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス変異株の急速な拡大により、緊急事態宣言の期間延長や区域変更、まん延防止等重点措置の適用など、社会経済活動は引き続き停滞しました。ワクチン接種の促進により経済活動の正常化が期待されるものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、巣ごもり需要が継続し、テイクアウト、通信販売、宅配などの利用が定着してきた一方、外出自粛要請や営業時間短縮、酒類提供の制限・禁止の要請等による業務用チャネルの低迷は継続し、多様化するニーズを的確に捉え柔軟な対応が求められております。

### 当期の業績

第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、販売促進費等の顧客に支払われる対価について、従来、「販売費及び一般管理費」として処理していた

2022年3月期第2四半期(連結)

売上高 **272.5億円**  
(前年同期比 3.1%減)

営業利益 **13.1億円**  
(前年同期比 39.4%減)

経常利益 **14.8億円**  
(前年同期比 37.2%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益 **12.4億円**  
(前年同期比 22.4%減)

方法を「売上高」から減額する方法に変更しております。この適用により、当第2四半期連結累計期間の売上高は32億90百万円減少しており、272億55百万円となりました。なお、参考情報として、前第2四半期連結累計期間にも当該基準を適用した場合の売上高は281億38百万円となり、デザート製品、ヨーグルト製品が前年実績を上回りましたが、豆製品、惣菜製品、昆布製品が前年実績を下回り、コロナ禍の需要減と厳しい競争環境が当グループの販売実績にも影響を及ぼしました。

利益面では、デリカ事業において不採算取引の解消をはじめ収益性改善に取り組みました。したがって、売上面からの利益の影響は軽微で、積極的な設備投資による減価償却費の増加に加え、昨年はコロナ禍で自粛したTVCMの放映を当第2四半期連結累計期間に予定どおり集中投下したことから、営業利益は13億18百万円(前年同四半期比39.4%減)、経常利益は14億88百万円(前年同四半期比37.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億48百万円(前年同四半期比22.4%減)となりました。

### 通期の見通しとビジョン

当グループにおきましては、経営品質の優れた“ニュー・フジッコ”の創造に継続して取り組んでおります。収益性が高く生産性が高い「スター商品」の拡販、「紙とハンコをなくす」デジタル化の推進、働き方改革として「残業ゼロ」の取り組み等に注力し、生産性向上のための構造改革を着実に進めております。

また、これまでデリカ事業部として運営してまいりました日配惣菜の製造部門を独立させ、2021年8月2日付でフジッコNEWデリカ株式会社を設立しました。独立専門化した新会社におきましては、迅速な意思決定とともにスピード感ある開発主体の経営体制を構築し、日配惣菜市場における多様化するニーズに柔軟に対応するとともに、工場の生産性を高め、収益性の改善と「働き方改革」に取り組み、新しい惣菜ビジネスモデルの実現に挑戦いたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2021年12月

### 製品別の売上状況

惣菜製品

売上高 **93.8億円 (4.4%減)**

「おぼんざい小鉢」シリーズが好調に推移しましたが、収益性改善に取り組む日配惣菜が不採算取引の解消により政策的に前年実績を下回ったことから、惣菜製品全体の売上高は93億82百万円となりました。

ヨーグルト製品

売上高 **36.2億円 (0.9%増)**

「カスピ海ヨーグルト」及び「大豆で作ったヨーグルト」のTVCMを全国各地で放映したこと等により順調に推移したことや、通販チャネルのサブプライム「善玉菌の子カラ」が伸長したことから、ヨーグルト製品全体の売上高は36億25百万円となりました。

昆布製品

売上高 **69.3億円 (2.0%減)**

佃煮は「ふじっ子煮」のTVCMを全国各地で放映したこと等により順調に推移したものの、塩こんぶは伸び悩み、昆布製品全体の売上高は69億35百万円となりました。

デザート製品

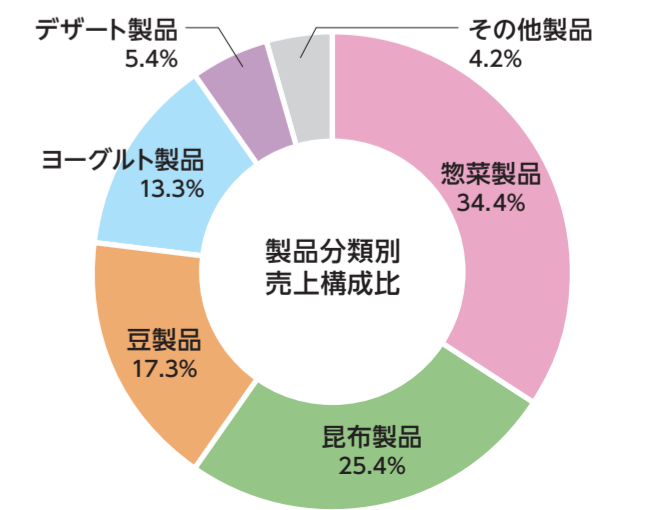
売上高 **14.6億円 (3.6%増)**

「フルーツセラピー」の期間限定商品の投入等により最需要期の夏期に拡販ができたことから、デザート製品の売上高は14億67百万円となりました。

豆製品

売上高 **47.1億円 (11.0%減)**

2021年3月に関東工場新工場棟が竣工し、省人化、自動化による生産性の向上を進めるとともに、「おまめさん」のパッケージデザイン変更や一部商品の賞味期間延長等のリニューアルを実施しましたが、煮豆の品目集約の影響や、水煮・蒸し豆が前年実績を下回ったことから、豆製品全体の売上高は47億14百万円となりました。



\*2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。カッコ内の前年同期比は、前第2四半期連結累計期間にも当該会計基準を適用した場合の参考数値となります。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (単位:百万円)		
科目	前期 (2021年3月31日現在)	当第2四半期 (2021年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	32,877	31,368
固定資産	52,332	49,975
有形固定資産	46,046	44,021
無形固定資産	374	336
投資その他の資産	5,912	5,616
資産合計	85,209	81,343
<b>負債の部</b>		
流動負債	12,876	8,726
固定負債	1,428	1,359
負債合計	14,304	10,085
<b>純資産の部</b>		
株主資本	69,458	70,083
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,499	7,499
利益剰余金	62,291	62,909
自己株式	△6,898	△6,891
その他の包括利益累計額	1,446	1,174
その他有価証券評価差額金	1,513	1,233
退職給付に係る調整累計額	△67	△58
純資産合計	70,905	71,258
負債純資産合計	85,209	81,343

四半期連結損益計算書 (単位:百万円)		
科目	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)
売上高	31,495	27,255
売上原価	18,510	18,086
売上総利益	12,985	9,169
販売費及び一般管理費	10,808	7,850
営業利益	2,177	1,318
営業外収益	225	192
営業外費用	33	22
経常利益	2,369	1,488
特別利益	60	588
特別損失	59	275
税金等調整前四半期純利益	2,370	1,802
法人税、住民税及び事業税	936	689
法人税等調整額	△173	△136
四半期純利益	1,607	1,248
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,607	1,248

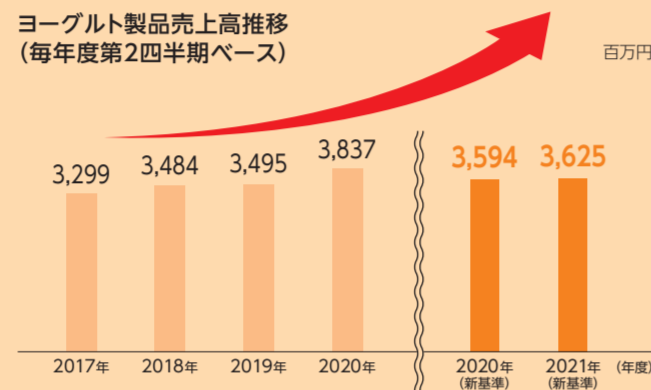
四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)		
科目	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,262	2,313
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,123	△3,159
財務活動による キャッシュ・フロー	△631	△630
現金及び現金同等物に 係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の 増減額	△1,492	△1,476
現金及び現金同等物の 期首残高	14,605	13,874
現金及び現金同等物の 四半期末残高	13,113	12,397

# すすむ!“ニュー・フジッコ”の創造



## 成長続けるヨーグルト製品

2005年の発売以来、当社の「カスピ海ヨーグルト」は成長し続けてきました。昨年はコロナ禍において免疫力向上意識が高まりましたが、今年もなお昨年を上回って成長しております。現在フジッコでは、“ニュー・フジッコ”の創造のひとつとして「ブランド価値の強靱化」を掲げて取り組んでおり、「カスピ海ヨーグルト」をはじめとした当社ヨーグルト製品が引き続きお客様に愛されるよう、顧客価値の創造に努めてまいります。



※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等適用しております。

2021年度上半期トピックス  
「カスピ海ヨーグルト」シリーズ、「大豆で作ったヨーグルト」のTVCMを放映。

【カスピ海ヨーグルト】  
●5月: 東北、信越、中国、九州  
●9月: 近畿

【大豆で作ったヨーグルト】  
●5月: 近畿、中部  
●9月: 東北、北陸、信越、中国、四国



「スター商品」の拡販

デジタル化推進  
紙とハンコをなくす

フジッコ  
NEWデリカ  
株式会  
社新設

## DX推進と働き方改革

**デジタル環境の再整備**

- Office 365: コミュニケーションのオンライン強化 (ガールーンからOffice365に移行し、メールサイズの増強、全社コミュニケーションの基盤としてMicrosoft Teamsを標準装備)
- zscaler: セキュリティ強化 (Zscalerを全社導入し、セキュリティの高いアクセス経路を確保、VPN接続は利用削減の方向へ)
- Workflowll / SAP Concur: パーパーレス化 (テレワーク下の生産性向上を図るため、個人経費精算、社内申請書のペーパーレス化を推進)
- ノートPCの標準化: Windows10搭載のノートPCを標準PCとして全面切り替え

**働き方改革**  
「残業ゼロ」の取り組み

「残業ゼロ」の取り組み  
60%削減

※サービス・ロゴは、各社の商標または登録商標です。

テレワーク推進  
DXでオフィスの先進化

働き方改革  
「残業ゼロ」の取り組み

風土改革  
心理的安全性のある職場づくり

## 風土改革

フジッコでは、“ニュー・フジッコ”の創造を加速する重点取り組みのひとつとして、働き方改革を掲げており、企業の持続的な成長と企業価値の向上のために多様性を重視し、性別や国籍に関係なく、能力や人物本位での人材登用を実施しております。当社は、心理的安全性の高い職場で一人ひとりが自分らしさを発揮でき、個人を尊重する自由な組織風土とするための取り組みを進めてまいります。

- 風土改革の取り組み**
- ✓ 職場の心理的安全性を確保するための研修 (管理職向け・年1回)
  - ✓ 無意識の偏見に気づくワークショップ (全社員対象)
  - ✓ 女性リーダー対象のキャリア開発支援
  - ✓ リーダー層、管理職向けのイクボス研修 (年1回)
  - ✓ 残業ゼロ、有給消化率60%以上、フレックス制、在宅勤務を推奨する取り組み
  - ✓ 社内インターンシップ制度、社内公募制度による自律的キャリア形成支援
  - ✓ 公平な評価制度による人事考課の実現
  - ✓ 「さん」づけ呼称の推進
  - ✓ 服装の自由化

## フジッコNEWデリカ株式会社の新設

2021年8月フジッコNEWデリカ株式会社を設立し、10月より本格稼働しております。独立専門化された新会社では、迅速な意思決定とともに、スピード感ある開発主体の経営体制を構築し、従業員が誇れるお惣菜の会社を目指します。



- 収益性改善の取り組み**
- SKU削減
  - 不採算取引の解消
  - 1品単価引き上げ
  - 残業時間の削減

## フジッコ公式SNS (Twitter, Instagram) 開設!

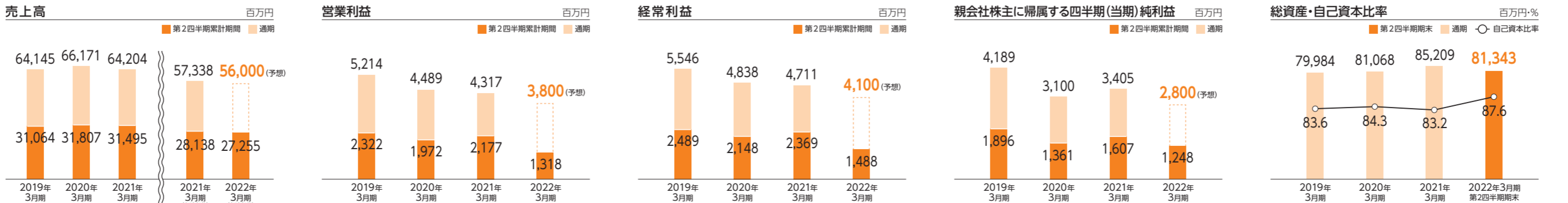
この度6月1日より、フジッコ公式SNSを、LINEに加え、Twitter及びInstagramでも新たに開設いたしました。当社はこれまでキャンペーン企画を中心にSNSを活用してきましたが、フジッコからお客様への一方通行コミュニケーションが課題となっておりました。しかし、6月からはコンテンツを中心にSNSを活用することでフジッコとお客様の双方向コミュニケーションを図ることが可能となりました。これを機に当社に対するお客様の理解を促進し、フジッコ商品をオススメしてくださるファンを獲得していくことを目指してまいります。

フォローお願いします!

## 東京FFセンターで初開催! オンライン料理教室

9月25日、「オンライン料理教室」をZoomウェビナー形式にて開催しました。フジッコ初のオンラインでの料理教室開催となり、全国どこからでもイベントに参加いただけるようになりました。講師にはイタリア料理で有名な片岡麗シェフをお招きし、フジッコ商品を使ったおいしくて簡単にできるオリジナルメニューを、今年4月に開設した東京FFセンターの新しいキッチンからライブ配信でお届けしました。今後この東京FFセンターを、お客様との双方向情報発信基地としての最新設備を活用した新しい食育活動を模索し、お客様向け料理教室やセミナー・講習会などの他、お得意先をご招待して新商品発表会など各種イベントの実施を検討してまいります。

## 連結財務ハイライト



## 会社情報

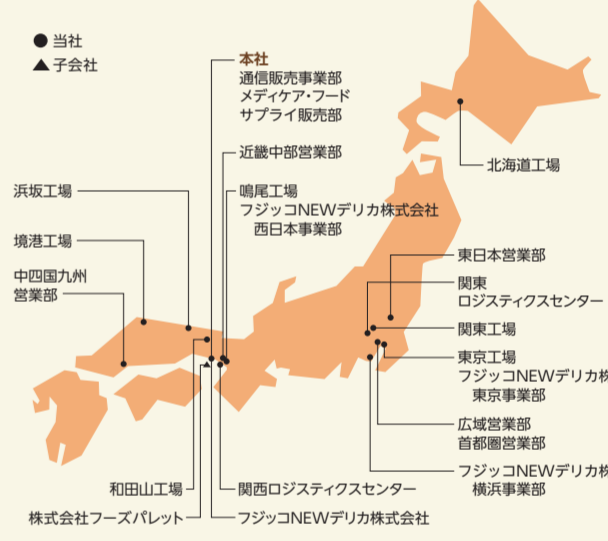
■会社の概要 (2021年9月30日現在)

社名: フジッコ株式会社  
 本社所在地: 神戸市中央区港島中町6丁目13番地4  
 事業内容: 惣菜製品、昆布製品、豆製品、ヨーグルト製品及びデザート製品を主体とした食品加工業  
 創業: 1960年11月7日  
 資本金: 65億66百万円  
 従業員: 2,602名  
 工場: 兵庫3、埼玉1、千葉1、北海道1、鳥取1  
 物流センター: 兵庫1、埼玉1  
 営業拠点: 全国18拠点  
 連結子会社: フジッコNEWデリカ株式会社、株式会社フーズ/レット

■取締役 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員: 福井 正一  
 取締役専務執行役員: 石田 吉隆  
 取締役上席執行役員: 荒田 和幸  
 取締役上席執行役員: 寺嶋 浩美  
 社外取締役: 渡邊 正太郎  
 社外取締役: 小瀬 昉  
 社外取締役: 池田 純子  
 取締役 監査等委員: 藤澤 明  
 社外取締役 監査等委員: 石田 昭  
 社外取締役 監査等委員: 曳野 孝

## サービスネットワーク



本社: 〒650-8558 神戸市中央区港島中町 6-13-4  
 東日本営業部: 〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷 3-1-7  
 メットライフ宇都宮ビル7階  
 首都圏営業部: 〒112-0013 東京都文京区音羽 1-26-16  
 広域営業部: 〒112-0013 東京都文京区音羽 1-26-16  
 近畿中部営業部: 〒663-8233 兵庫県西宮市津門1町 3-6  
 中四国九州営業部: 〒733-0812 広島市西区西斐本町 3-13-26  
 メディア・フードサブライ販売部: 〒650-8558 神戸市中央区港島中町 6-13-4  
 通信販売事業部: 〒650-8558 神戸市中央区港島中町 6-13-4  
 関東ロジスティクスセンター: 〒350-0259 埼玉県坂戸市西インター 1-2-1  
 DPLビル1階東棟内  
 関西ロジスティクスセンター: 〒658-0033 神戸市東灘区向洋町西 6-13-1  
 北海道工場: 〒066-0077 北海道千歳市上長郷 1-8  
 関東工場: 〒349-1212 埼玉県加須市麦倉 1501  
 東京工場: 〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町 5  
 鳴尾工場: 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜 1-22-5  
 和山工場: 〒669-5212 兵庫県朝来市和田山町柳原 68  
 浜坂工場: 〒669-6732 兵庫県美州市新温泉町福富字定利 178  
 境港工場: 〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地 271  
 株式会社フーズ/レット: 〒650-0045 神戸市中央区港島 2-6  
 フジッコNEWデリカ株式会社: 〒650-8558 神戸市中央区港島中町 6-13-4  
 フジッコNEWデリカ株式会社 東京事業部: 〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町5  
 フジッコNEWデリカ株式会社 横浜事業部: 〒226-0012 神奈川県横浜市区上1丁目8-2  
 フジッコNEWデリカ株式会社 西日本事業部: 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22-5